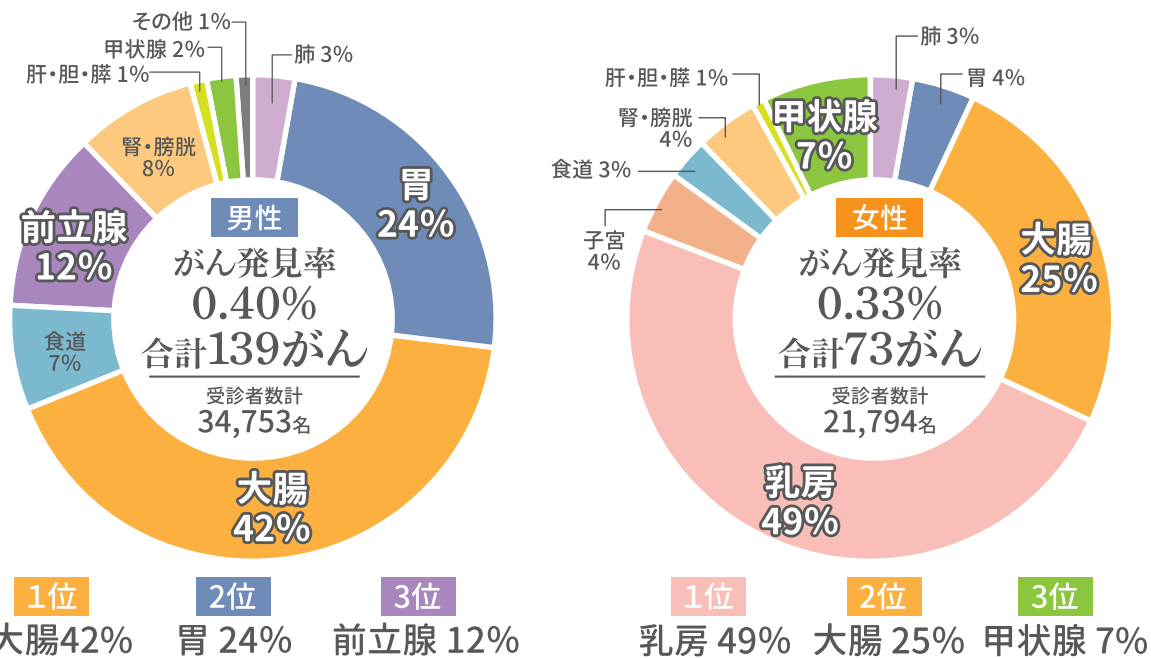


医学協会の人間ドックで発見したがん 最新データによる 人間ドック(2021年度)の結果から

企画部 部長 鈴木 貴幸

発見した臓器別がん症例数(性別の割合)



当会の人間ドックで発見したがん

総受診者数 56,547人

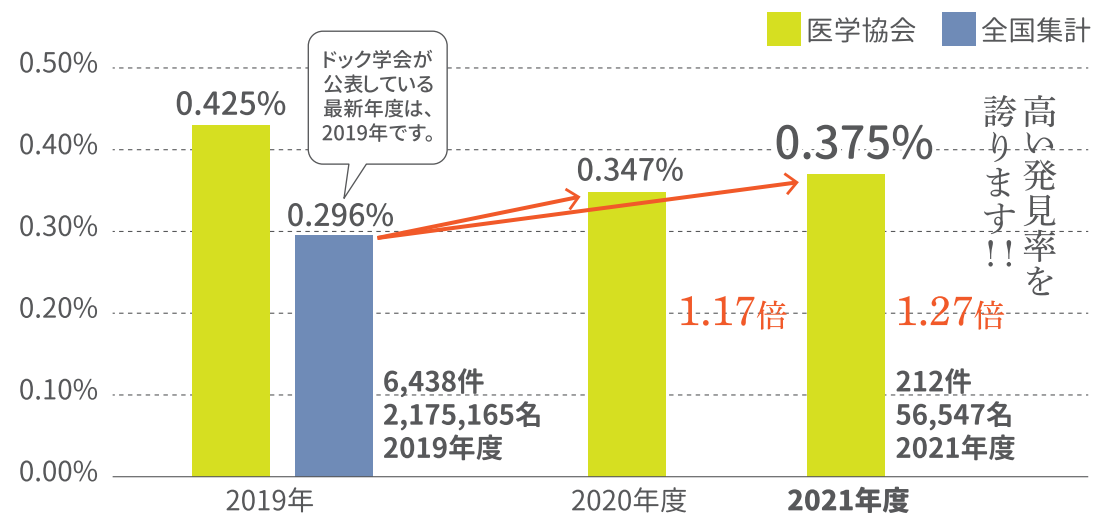
年齢	男性		女性			
	受診者数	がん症例		受診者数	がん症例	
		発見数	発見率		発見数	発見率
39歳以下	2,404	1	0.04%	1,309	2	0.15%
40-49歳	9,076	7	0.08%	5,697	23	0.40%
50-59歳	10,864	31	0.29%	7,139	15	0.21%
60-69歳	8,639	63	0.73%	5,456	20	0.37%
70歳以上	3,770	37	0.98%	2,193	13	0.59%
合計	34,753	139	0.40%	21,794	73	0.33%

※2021年度の結果を2022年9月末時点で集計しました。

2021年度 医学協会の がん発見数は212件(男性139件・女性73件) 267人に1人、がんを見つけました!

全国集計との比較

医学協会は、全国平均の1.27倍の発見率



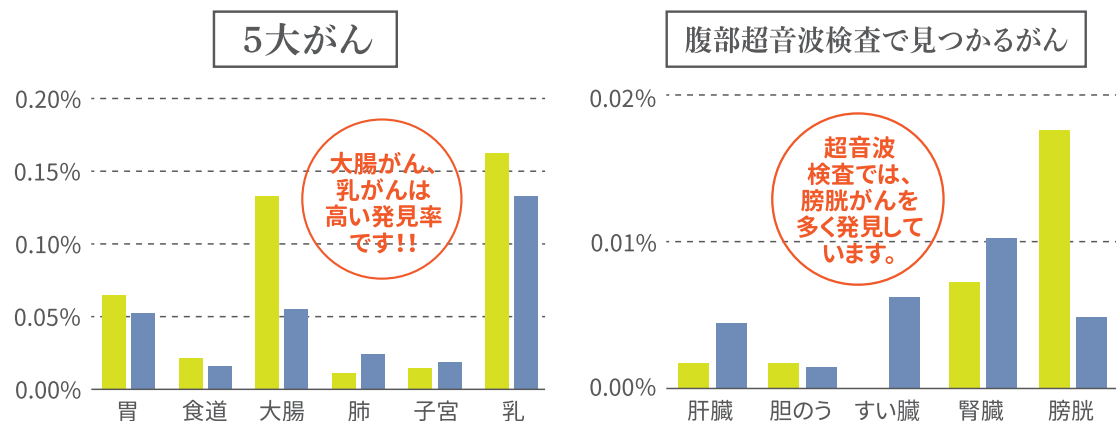
※(公社)日本人間ドック学会vol137「人間ドックにおけるがん登録-2019年度の成績-」より

発見した臓器別がん

	男性			女性			合計		
	2021	2020	2019	2021	2020	2019	2021	2020	2019
肺	4	5	7	2	2	2	6	7	9
胃	34	27	40	3	1	9	37	28	49
大腸	58	39	51	18	20	23	76	59	74
乳房				36	31	37	36	31	37
子宮				3	7	3	3	7	3
食道	10	2	2	2	1	0	12	3	2
前立腺	17	18	22				17	18	22
白血病	1	0	1	0	0	0	1	0	1
腎臓	3	3	5	1	1	1	4	4	6
肝臓	0	2	1	1	0	0	1	2	1
膵臓	0	4	1	0	1	3	0	5	4
胆のう	1	1	1	0	1	1	1	2	2
甲状腺	3	8	2	5	10	5	8	18	7
膀胱	8	6	14	2	1	1	10	7	15
リンパ腫	0	2	3	0	0	5	0	2	8
その他	0	0	0	0	1	1	0	1	1
計	139	117	150	73	77	91	212	194	241

高いがん発見率を誇る医学協会の 品質管理システムと 人材育成プログラム

部位別がん発見率：全国集計との比較 ■ 2021年度-医学協会 ■ 2019年度-全国平均



医学協会では、がん発見率などの健診の品質に関わるデータを公表し、検査精度を向上させています。また、検診後の精検受診勧奨とフォローアップを行い、その結果も公表しています。

国家資格に加えて、
専門学会の認定取得を
積極的に推進しています。

- ◆胃がん検診、肺がん検診、胸部・大腸CT検査
胃がん検診専門技師(日本消化器がん検診学会) **38名**
肺がんCT検診認定技師(日本CT検診学会) **6名**
- ◆乳がん検診(マンモグラフィ)
検診マンモグラフィ撮影認定技師
(日本乳がん検診精度管理中央機構) **20名**
- ◆乳がん検診(乳腺超音波)
腹部超音波検査
超音波検査士(日本超音波医学会) **28名**

人間ドック(2021年度)の結果から 総合判定結果 有所見者の割合

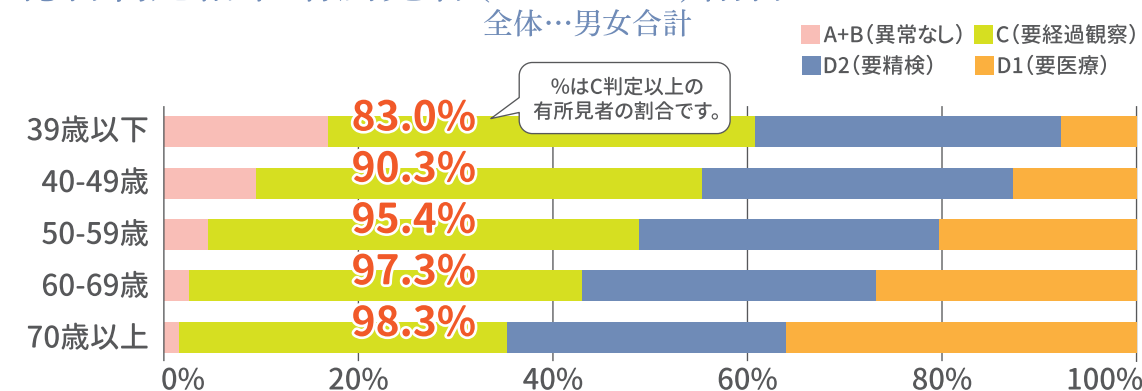
医学協会の人間ドック ◆平均年齢 **55.2歳** ◆リピーター率 **77.1%**

性別・年齢別受診者数

	39歳以下	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	全体	割合
男性	2,404	9,076	10,864	8,639	3,770	34,753	61.5%
女性	1,309	5,697	7,139	5,456	2,193	21,794	38.5%
全体	3,713	14,773	18,003	14,095	5,963	総受診者数 56,547	
割合	6.6%	26.1%	31.8%	24.9%	10.5%		

※日帰りドック・一泊ドックの集計(簡易ドック・家族ドックは除く)

総合判定結果 有所見者(C・D2・D1)割合



特定健診の対象となる40歳の時点で、9割の方に所見がありました。

所見別結果:有所見者(C・D2・D1)割合の上位項目

男性 ①糖尿病

②肥満

③超音波(肝臓)

女性 ①糖尿病

②脂質異常症

③超音波(肝臓)

◆◆「糖尿病」は、男女とも、50歳代以上で、全国平均を上回っている。(当会男性58%・女性45%)

◆ 男性の「肥満」は、全年齢層で全国平均を上回り、50歳代以上では、高い所見率。

◆◆「高血圧」は、男女とも年齢とともに、所見率も上昇。

◆◆「高コレステロール」では、男性の40歳代、女性の50・60歳代が、高い所見率。

◆ 「中性脂肪」では、男性の40・50歳代が高い所見率。

順位 (有所見率)	所見分類	有所見者数		有所見者率	
		男性	女性	男性	女性
1	糖尿病	19,848	9,662	58%	45%
2	脂質異常症	13,899	7,129	40%	33%
3	超音波所見(肝臓)	14,323	5,696	42%	26%
4	肥満	15,276	4,490	44%	21%
5	肝機能障害	10,769	3,977	31%	18%
6	高血圧	10,125	3,492	29%	16%
7	胃部X線所見	4,827	4,415	14%	20%
8	子宮所見	0	3,109		14%
9	心電図異常所見	4,916	2,399	14%	11%
10	腎機能低下	4,001	2,146	12%	10%
11	超音波所見(甲状腺)	2,590	3,200	8%	15%
12	超音波所見(胆のう)	2,939	1,474	9%	7%
13	やせ型	1,211	2,864	4%	13%
14	貧血	1,265	2,642	4%	12%
15	尿潜血陽性	1,021	2,016	3%	9%

医学協会の人間ドックは、 検査項目を **無料** で追加・導入しています。

日本人間ドック学会が定める「基本検査項目/判定区分」に合わせて
全国の医療機関・健診機関は、人間ドックを運用しています。
当会では、それに加えて病気の早期発見と進行度の確認、がんのリスクの
判定などに必要な検査項目を無料で追加(導入)しています。

赤字が無料で
追加(導入)の検査項目です!

身体計測… 身長、体重、BMI、肥満度、腹囲測定、**体脂肪率**、視力、聴力、眼圧検査
呼吸器系… 胸部エックス線検査(直接撮影)(正・側面2方向)、肺活量、%肺活量、努力性肺活量、1秒量、1秒率、%1秒量、**肺年齢**
循環器系… 血圧、胸部エックス線検査(心陰影)、心電図検査、心拍数、眼底検査
血清脂質系… 総コレステロール、中性脂肪、LDLコレステロール、HDLコレステロール、**LDL-C/HDL-C比**、non-HDLコレステロール
腎・泌尿器系… 尿比重、PH、尿蛋白、尿潜血、尿沈渣、**尿素窒素**、クレアチニン、推算糸球体ろ過量(eGFR)、**NEW 尿中アルブミン**
消化管系… 胃部エックス線検査(任意型 直接)、食道エックス線検査、便潜血検査(2日法)、腹部超音波検査(肝臓・胆のう・腎臓・脾臓・膵臓、腹部大動脈、**甲状腺も実施**)
肝・胆・膵系… **尿ウロビリノゲン**、AST、ALT、γ-GT、ALP、LD、総ビリルビン、総蛋白、アルブミン、**A/G比**、HBs抗原、**膵機能検査(血清アミラーゼ)**、**FIB-4**、**AFP**、**CA19-9**
代謝系… 尿糖、グルコース [空腹時血糖]、HbA1c、尿酸
血液系… 赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット値、MCV、MCH、MCHC、白血球数、血小板数、**血液像**
血清学… 梅毒血清反応(STS)(RPRテスト)、**梅毒トレポネーマ抗体(TPHA)**、**RAテスト**、CRP、血液型(ABO式・Rh式)
総合診断… 医師による問診・診察・結果説明
生活習慣改善… **推定塩分摂取量**、**推定カリウム摂取量**、**尿中Na/K比**、保健指導、栄養指導、運動指導、体力測定、健康講話

血清アミラーゼ すい臓がん、膵炎、唾石症など、すい臓や唾液腺に関わる病気を見つけます。

FIB-4 肝硬変、肝がんに関係する肝線維化の進行度がわかります。

AFP 肝機能項目とFIB-4で、異常があった方に、追加実施します。肝臓がんのリスクを判定します。

尿中アルブミン 一般的な尿検査では、検出できないほどのわずかな蛋白質を調べる検査です。糖尿病腎症をはじめとする慢性腎臓病、その先に待ち構える透析への進行を防ぐためにも“沈黙の臓器”腎臓の小さな声に耳を傾け、早期発見・早期治療を目指します。

県内初!!